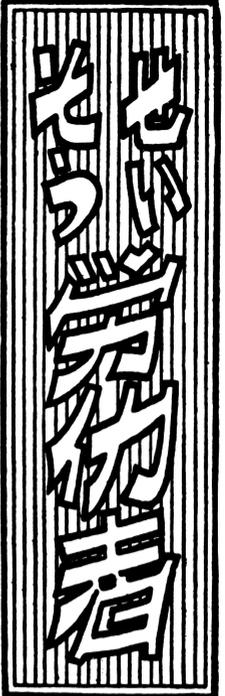


闘う体制確立と団結強化図る

東京清掃労働組合第76回定期大会



東京清掃労働組合
 千代田区飯田橋3-9-3
 TEL (3237) 9995
 毎月5日15日25日発行
 1部20円

編集責任者 長治
 教宣部 木川

わが組合の綱領

- 一、われわれは健全なる自主的組織を確立し、生活諸条件を確保し、社会的地位の向上を期す。
- 二、われわれは労働の社会的意義を顕揚し、都区政の徹底的民主化を期す。
- 三、われわれは労働者階級の解放と民主主義日本を建設し、世界平和に貢献せんことを期す。

第76回定期大会 特集号



東京清掃労働組合第76回定期大会

- ▶ 清掃事業関係統一交渉の一方的打ち切りを糾弾し、組合の分断と弱体化を許さず、労働委員会闘争を組織の総力を挙げて闘い、勝利しよう！
- ▶ 東京23区清掃事業執行の統一交渉事項を引き続き堅持させ、清掃事業の一貫性、統一性、一体性を堅持し、「区・一組・都」を貫く東京清掃労働組合の団結を強化しよう！
- ▶ 意図的な公務員攻撃や現業系職員の給与水準の引き下げを許さず、清掃労働者の労働条件の向上に向け全力で闘いぬこう！
- ▶ 清掃従事職員の初任給格付などを是正させ、賃金抑制攻撃、差別・分断を招く人事給与制度の改善を阻止しよう！
- ▶ 07賃金確定闘争を都労連、特区連、23区職労と連帯し、組織の総力を挙げ、ストライキをはじめあらゆる戦術で闘いぬこう！
- ▶ 退職不補充・定数削減・民間委託攻撃に反対し、直営体制の必要性・優位性を強化し、質の高い住民サービスを向上させよう！
- ▶ 「安全・権利闘争」を過半数闘争と位置づけ、安全作業を確立し、公務災害一掃に向け取り組みを強化しよう！
- ▶ 職場災害をはじめ、公務上の災害はすべて公務災害と位置づけ、災害補償基金への認定闘争を職場から強化しよう！
- ▶ 家賃ごみ有料化に反対し、廃プラスチックの安易なサーマルリサイクルを許さず、環境保全・資源循環型清掃事業を確立しよう！
- ▶ 不当な時間内組合活動の見直し攻撃に屈せず、組織・財政基盤を強固なものとし、職場から反撃しよう！
- ▶ 差別を生み出す社会・職場環境の改善を求め、職場・地域からどんな差別も許さない取り組みを強化しよう！
- ▶ 自治労産別強化・全労協運動を推進し、すべての闘う仲間と連帯し、階級的労働運動を推進しよう！
- ▶ 不当解雇された1,047名の納得いく解決に向け、4者・4団体の共同行動を突破口に国鉄闘争完全勝利に向け共に闘おう！
- ▶ 平和憲法の改善を許さず、自衛隊海外派兵に反対し、戦争・テロの即時中止を求め、あらゆる政治反動を阻止しよう！

変敵しい状況、攻撃が続き
 ますが、さらなる闘う体制
 確立と団結強化が図られる
 大会とするよう訴えまし
 た。

大会では、日曜日にも関
 わらず別項のとおり多くの
 来賓が出席され、自治労働
 本部、遠藤中央執行委員長
 ・都労連、飯島組織共闘部
 長のお二人より激励のあい
 さつがあり、多くの方から
 メッセージもいただきました。

続いて資格審査委員会の
 報告を受け大会の成立を宣
 言し、大会運営委員会報告
 が行われました。杉並支部
 の吉田代議員から意見がだ
 され、その意見について、
 大会運営委員会で審議する
 ことを確認して全体で報告
 を確認しました。

午後からは、組織財政方
 針(案)、2008年度運動
 方針(案)を中心に質疑が
 行われ、規約・規定改定
 (案)の質疑・討論・採決
 一で終了しました。

東京清掃労働組合第76回定期大会が9月30日、全電通会館で開かれました。大会は、当局の労働組合つぶしの攻撃である時間内組合活動の見直しにより、日曜日の開催となつてしまいましたが、代議員の欠席も少なく、労働条件の改善をはじめ、安全な職場を目指し、各支部、総支部からさらなる組織強化、団結強化にむけて、対当局の悪らつな攻撃を打破するために、新たな闘いに立ち向かう一歩をふみ出すものとなりました。

続いて資格審査委員会の報告を受け大会の成立を宣言し、大会運営委員会報告が行われました。杉並支部の吉田代議員から意見がだされ、その意見について、大会運営委員会で審議することを確認して全体で報告を確認しました。

午後からは、組織財政方針(案)、2008年度運動方針(案)を中心に質疑が行われ、規約・規定改定(案)の質疑・討論・採決一で終了しました。

大会は、9時30分に開会。あいさつを行った西川委員議長に寺沼(足立東)・張長は、この間、組織内での替(千代田)両代議員を選二組問題や、各区、一組に出し、両議長のもとで議事おける委託の拡大、非正規、が進められました。開会の派遣職員は拡大といった大

と、委託拡大や非正規・派遣の拡大、清掃工場のアウトソーシングによる運転管理業務の委託といった大変敵しい攻撃が続きますが、本定期大会において活発な議論の基、生活と権利を守るため、さらなる闘う

本日の定期大会は6月からの時間内組合活動への締め付けにより、日曜日による開催となりました。この時間内組合活動規制は、自治体労働運動への弱体化攻撃そのものであり、労働組合潰しであることは言うまでもありません。こうした、不当な攻撃に屈服することなく闘う体制の確立に向けて本定期大会において



活発な議論で 闘う団結つくろう

中央執行委員長 西川 卓吾

年目の年でありませんが、2組問題や各区における退職不補充を施策とした欠員不補充・人員削減攻撃の表明の挨拶とします。



議長団の寺沼・張替両代議員

組合員の総団結で組織強化・財政確立をめざす決議(要旨)

本年6月より、各特別区・東京二十三区清掃一部事務組合当局(以下、「区当局等」)は、いわゆる「無給職免」「組合休暇」の導入を順次、開始した。区当局等による今回の対応は、特別区における自治体労働運動への弱体化攻撃そのものであり、結果として、資本・当局の意図する自治体合理化を推進し、働く者の生活と権利を奪うものとなりかねないものである。

わが組合をめぐる状況は、区当局等による、この間の人員削減攻撃・欠員不補充のなかで、遺憾ながら組合員数の減少が続き、結果として、組合費収入の減少が続いている。その反面、生活と権利を守り、労働条件の維持・向上にむけた闘いは、かつてなく、その重要性を増している。こうしたなか、本大会は真摯な議論を通じ、「組織財政方針」を決定した。

区当局等による合理化攻撃の展開、組合活動への全面的な規制強化に対し、わが組合は、まさに生活と権利、職場を守りきる闘いをより強化していく決意である。この目的の達成にむけ、「組織財政方針」に基づき、組合活動の全領域にわたる点検・見直し・改善をはかり、より効果的かつ有効な闘争体制の確立をめざすものである。

主要基幹産業を中心に「安定的労使関係」をほぼ確立した総資本は、今や自治労、日教組等への攻撃を集中している。働く者の諸権利を奪うとともに、自らに都合のよい自治体再編、教育改革等を強行し、憲法改悪をその最終目標として突進しようとしている。「働く者の生活と権利を守り、平和と民主主義を守る」とのスローガンを改めて腹に据えながら、現下の状況に正面から立ち向かい、区当局等による攻撃をはねかえす強靱な組織作りに全力で取り組む決意である。

以上、決議する。

2007年9月30日

東京清掃労働組合第76回定期大会

すべての差別を許さず、働きやすい職場環境を目指す決議(要旨)

今年6月20日、東京二十三区清掃一部事務組合総務課宛に差出人不明の悪質な差別封書が届いた。その内容は「同和関係の親戚がいる」「同和の親戚関係職員は使うなよ」と表現し、千歳清掃工場の職員を誹謗・中傷し、被差別部落への差別意識を煽り立てる差別事件である。

わが組合は、それまでの部落差別への取り組みの不十分さを真剣に受け止め、本部のもとに人権啓発推進委員会を設置し、清掃・人権交流会とも協力・連携し取り組んできたところである。

一方、職業差別については、1998年9月目黒清掃工場における工場職員を蔑視する差別ビラの投入事件等が発生し、清掃局に対して差別解消に向けた研修の強化などを要求してきた。

2006年6月には「大田区職労土建公環支部ニュース」において「清掃への異動は、基本的人権の否定である。また、悪質ないじめである」との清掃差別記事が掲載されたことに対し、大田区職労に対し、事実上の「確認会」を持ち、こうした事件が再び起きないように取り組んできた。

しかし、こうした取り組みにもかかわらず、今回の「清掃一組部落差別投書事件」が起きたことは非常に残念である。

我々は自らにかけられた清掃職業差別を許さず、正面から取り組んでいく。

清掃職業差別、部落差別、あらゆる差別の撤廃のため、わが組合は、あらためて原点に立ち戻り、差別のない明るく働きやすい職場環境を目指し運動を強化していくことを決議する。

2007年9月30日

東京清掃労働組合第76回定期大会

役員選挙規程に則り、信任投票を実施する決議

提案支部 港工場支部・大田工場支部

決議案文

「役員選挙規程第9章 投票 第22条

⑤候補者が定数を超えない場合は、選挙権のある組合員全員の信任投票を行いその過半数の信任を得なければならない。」に則り、中央執行委員長、副中央執行委員長、書記長、書記次長及び専門部長の組合員全員による信任投票を大会後すみやかに、遅くとも今年中には、実施する。

以上決議する。

2007年9月30日

東京清掃労働組合第76回定期大会

1990年に第53回の定期大会で臨時中央執行委員として立候補し、安全担当を3年、賃金部長を7年、そして世田谷区の担当を4年間、最後に副委員長という大役を務めさせていただきました。

私が中央執行委員になったときは、とにかく現場に出ながら中央執行委員をやるんだという気構えで始めまして、以後、現在まで現場に出て、それから本部の役員を担うという中で費

てまいりました。2000年を前後して、数時の区移管反対の闘い、そして移管後の身分移管の闘い、そして現在の統一交渉を勝ち取

る闘いを皆さんと一緒に、同じ戦列の中で闘わせていただいたことを本当にありがたく思います。私は、この3月31日をもって定年退職となるため、今大会において退任をさせていただきますことになりま

さんと闘っていくという気持ちです。これからは大変厳しい機関連営を迫られることと思いますが、そうした中でも体だけは大切に、元気が

がんばっていただきたいと思います。



壇

北原副委員長

17年の長きにわたりご苦労様でした

来賓のみなさん

- 遠藤 幹夫 自治労都本部執行委員長
- 飯嶋 博光 都労連組織共闘部長
- 今井 一広 大阪市従業員労働組合環境事業支部副支部長
- 古川 忠 大阪市従業員労働組合環境事業支部書記長
- 松下 登 横浜清掃労働組合中央執行委員長
- 吉田 俊彦 特区連現評連絡会議長
- 田辺 義人 自治労公共サービス清掃労働組合執行委員長
- 斉藤 勝征 自治労公共サービス清掃労働組合白井支部支部長
- 古館 芳明 都庁職建設支部支部長
- 阿部 薫 環境整備公社
- 二瓶 久勝 国鉄闘争に勝利する共闘会議議長
- 佐久間 誠 日本鉄道建設公団訴訟原告団事務局長
- 小泉 京一 東京清掃退職者会会長

他に、『反戦平和・民主主義を守る闘いを強化する決議』

『国鉄闘争に勝利する決議』

以上の決議があります。



同決議(案)への意見を述べる田中代議員



信任投票を実施する決議(案)を提案する稲葉代議員

